

## 令和3年度 学校評価アンケートの集計結果について

昨年11-12月に実施をしました、令和3年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告をいたします。皆様からいただいた貴重なご意見を、次年度の学校運営でしっかりと活かしていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

筑波大学附属大塚特別支援学校  
校長 川間 健之介

**アンケートの回答数：63件（回収率 87.5%）** \*昨年度 91.9%、一昨年度 79.7%

いただいたご回答について、選択項目、自由項目共に集計をし、全校職員と共有をしました。その後、各教員に対するアンケート調査を通して、保護者のみなさまからいただいたご意見（よかったことや改善して欲しいこと）に対する、今後のアイデアを出し合いました。選択項目、自由記述のそれぞれについての結果と、次年度に向けての改善案をご報告します。

**I. 選択項目について**

1. 【日々の教育実践】本校の授業は、幼児児童生徒が自ら取り組もうとする姿を大切にしていますか？



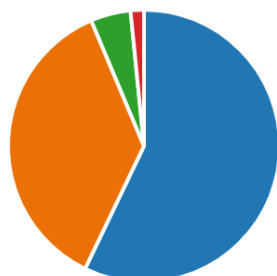
● A：十分あてはまる	41
● B：ほぼあてはまる	20
● C：どちらともいえない	2
● D：あまりあてはまらない	0
● E：全くあてはまらない	0

2. 【教員の指導・支援】教職員は明るく丁寧な対応を心がけ、幼児児童生徒一人一人の学びを大切にされた指導や支援にあたっていますか？



● A：十分あてはまる	42
● B：ほぼあてはまる	18
● C：どちらともいえない	3
● D：あまりあてはまらない	0
● E：全くあてはまらない	0

3. 【家庭への情報発信】学校における幼児児童生徒の様子が、十分に家庭に伝わっていますか？



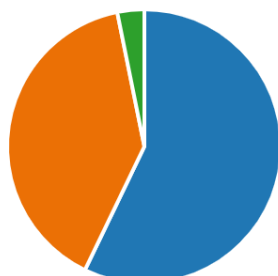
● A : 十分あてはまる	36
● B : ほぼあてはまる	23
● C : どちらともいえない	3
● D : あまりあてはまらない	1
● E : 全くあてはまらない	0

4. 【地域社会への情報発信】教育実践から得られた知見や成果を、広く地域社会に発信していると思いますか？



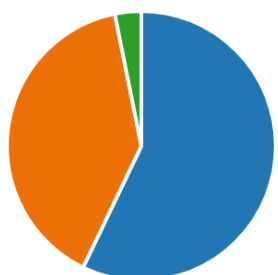
● A : 十分あてはまる	21
● B : ほぼあてはまる	28
● C : どちらともいえない	14
● D : あまりあてはまらない	0
● E : 全くあてはまらない	0

5. 【安全】感染症対策を含めて、学校内における安全が、十分に守られていますか？



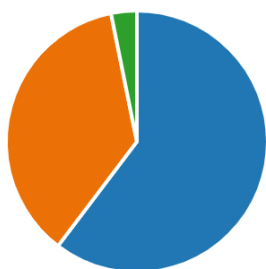
● A : 十分あてはまる	36
● B : ほぼあてはまる	25
● C : どちらともいえない	2
● D : あまりあてはまらない	0
● E : 全くあてはまらない	0

6. 【環境美化】教職員は、校舎内外の環境の整備と美化に努めていますか？



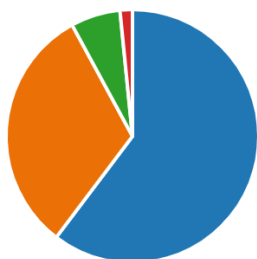
● A : 十分あてはまる	36
● B : ほぼあてはまる	25
● C : どちらともいえない	2
● D : あまりあてはまらない	0
● E : 全くあてはまらない	0

7.【学校行事】学校行事は、感染症対策を講じながら、幼児児童生徒の学習の良い発表の場になっていますか？



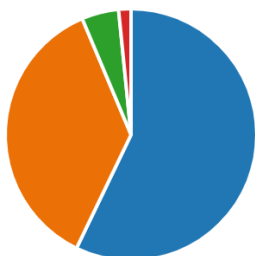
● A：十分あてはまる	38
● B：ほぼあてはまる	23
● C：どちらともいえない	2
● D：あまりあてはまらない	0
● E：全くあてはまらない	0

8.【家庭連携】お子さんの教育方針について、学校と十分に連携ができていますか？



● A：十分あてはまる	38
● B：ほぼあてはまる	20
● C：どちらともいえない	4
● D：あまりあてはまらない	1
● E：全くあてはまらない	0

9.【個別の指導計画と授業】個別の指導計画に基づく、お子さんの教育的なニーズ（重点目標）が、授業の内容に十分反映されていると思いますか？



● A：十分あてはまる	36
● B：ほぼあてはまる	23
● C：どちらともいえない	3
● D：あまりあてはまらない	1
● E：全くあてはまらない	0

10.【個別の教育支援計画と連携】個別の教育支援計画に基づき、必要に応じた関連機関（通園先,交流校,現場実習先,放課後デイ,療育等）との連携ができていますか？



● A：十分あてはまる	21
● B：ほぼあてはまる	15
● C：どちらともいえない	20
● D：あまりあてはまらない	5
● E：全くあてはまらない	2

11. 【共生社会に向けての取り組み】本校は、障害の理解啓発等に関する地域社会貢献の取り組み（例えば子育て支援、交流学习、職業ライフキャリア学習、SDGsに関する取り組み、ICT等の研修活動など）を積極的に行っていると思いますか？



<選択項目のまとめ>

選択項目の多くで、「A:十分あてはまる」、「B:ほぼあてはまる」とご回答をいただきました。特に1.【教員の指導・支援】、5.【安全（感染症対策）】に関して、高い評価を得ました。一方で、10.【個別の教育支援計画と連携】については、「C:どちらともいえない」、「D:あまりあてはまらない」、「E:全くあてはまらない」のご回答が、合計で4割程度ありました。

## II. 自由記述について

自由記述では、「今年度の取り組みでよかったこと」、「改善してほしいこと」、「その他、ご要望等」をご回答いただきました。自由記述を含めたアンケート全体のまとめと今後の秋全案を以下に示します。

### <アンケート全体のまとめと今後の改善案>

- (1)感染症対策について、昨年度に引き続き、学校での取り組みに関して、理解と高い評価を得ました。特に今年度は感染状況に応じて、対面授業とオンライン授業のバランスをとりながら教育活動を実施できたことが評価に結びついたと考えられます。
- (2)オンラインの取り組みについて、昨年度と同様に高い評価を得ました。特に保護者会、面談、現場実習壮行会、講演会や学習会など、保護者が参画する取り組みについて、オンラインを併用して実施したことで、多くの方が参加しやすくなりました。また動画や写真の共有と合わせて、オンラインの取り組みが、幼児児童生徒の生活や学習の様子を知る良い機会になっていることも伺えました。
- (3)行事について、大塚祭や校外学習等、感染症対策を講じて開催をしたことに対して、多くの方からの評価を得ました。学校全体として行事に関する幼児児童生徒の学習活動への理解が深まっていることがうかがえます。一方で、行事の開催可否や内容の決定時期に関するご意見や、学習発表の姿をライブで見たいというご要望もありました。

今年度は、運動会に替わる学部行事の実施や、大塚祭の映像発表など、状況に応じた形を工夫しながら実施をしてきました。2年間の取り組みを経て、対面とオンライン、それぞれのメリットや成果も見えてきました。今後も、丁寧にみなさまに説明し、ご理解とご協力を求めていきたいと考えます。また開催方法については、今年度、国や都の基準に基づくガイドラインを作成し、実施をしました。判断をより明確にするために、今後も継続してガイドライン等を見直しながら、基準に基づいた対応をしていきたいと考えます。さらに、オンラインを含めた保護者参観の機会をより多く設定し、学校での取り組みを直接見て知っていただく機会を大切にします。子どもたちの学びや育ちを「一緒に考える」良い機会にしていきたいと考えます。

(4)学校から出される方針や連絡について、感染症の状況に応じた対応や、学習活動の安全面等への配慮に関するご理解を多くの方から得ました。一方で、なるべく早い時期に、明確な形で方針や連絡を出して欲しいというご意見も数件ありました。

今年度は全校一斉送信メーリングリストを新たに設定し、書面やメール等、文面での連絡方法を整えてきました。文書での連絡は、児童発達支援や放課後等デイサービスなど、地域におけるサービス利用の根拠になるなど、メリットが大きいというご意見もいただいています。継続して行っていきます。また時期については、引き続き感染症の状況を踏まえつつ、学部内、学部間で連携を取りながら、迅速な連絡ができるように引き続き努力をいたします。